

宍粟市新病院整備工事実施設計技術協力事業者（施工予定者）選定
公募型プロポーザル審査結果報告

宍粟市新病院整備工事実施設計技術協力業務を委託するに当たって、公募型プロポーザル方式により事業者の選定を行いましたので、次のとおり審査結果を報告します。

令和 5 年 9 月 26 日

宍粟市新病院整備工事実施設計技術協力事業者
（施工予定者）選定に係る宍粟市プロポーザル
選定委員会

委員長 朝倉 一晃

1 審査結果

宍粟市新病院整備工事実施設計技術協力事業者（施工予定者）選定（以下、「選定委員会」という。）は、参加資格審査及び技術等審査を厳正かつ公正に行った結果、次の者を最優秀提案事業者（以下、「最優秀者」という。）及び次点者に特定しました。

最優秀者 戸田・神名特定建設工事共同企業体

（V E 提案採用後概算工事費：15,180,000,000 円【消費税及び地方消費税を含む】）

次点者 清水・上林特定建設工事共同企業体

2 参加資格審査及び技術等審査までの経過

(1) プロポーザル実施方法の決定

令和 5 年 3 月 14 日（火）第 1 回選定委員会を開催。

選定委員会設置要綱、市ガイドライン、実施要領を確認し、参加資格要件及び評価基準など実施要領に関することについて決定しました。

また、企画及び技術等に関する提案書の審査及び評価に関すること、並びに候補者選定に関することなどについて決定しました。

(2) 公告

令和 5 年 4 月 12 日（水）事業者選定の実施について公告。

宍粟市及び宍粟総合病院ホームページに掲載しました。

(3) 参加申込書等の提出

令和 5 年 4 月 12 日（水）から令和 5 年 4 月 28 日（金）まで募集を実施した結果、2 者から参加申込書の提出がありました。

(4) 参加申込に関する質問書の提出

令和 5 年 4 月 19 日（水）までに 2 者から質問書の提出がありました。

(5) 質問書への回答

令和 5 年 4 月 24 日（月）に、宍粟総合病院ホームページにおいて、質問に対する回答を掲載しました。

(6) 参加資格確認結果の通知及びプロポーザル関係書類提出の要請

参加申込書の提出のあった 2 者について、参加資格を有することを確認し、令和 5 年 4 月 28 日（金）に参加資格確認結果の通知と共に技術提案書及び V E 提案書等の提出要請を行いました。

(7) 技術提案書及び V E 提案書等に関する質問書の提出

令和 5 年 6 月 23 日（金）までに、2 者から質問書の提出がありました。

(8) 質問書への回答

令和 5 年 7 月 11 日（火）までに、宍粟総合病院ホームページにおいて、質問に対する回答を掲載しました。

(9) V E 提案書の提出

令和 5 年 7 月 26 日（水）までに、2 者から V E 提案書の提出がありました。

(10) V E 提案の内容聞き取り

令和 5 年 8 月 7 日（月）に、2 者から V E 提案の内容について聞き取りを行いました。

(11) V E 提案書の採否通知

令和 5 年 8 月 16 日（水）に、V E 提案に対する採否の通知を行いました。

(12) 技術提案書及び V E 提案書等の提出

令和 5 年 9 月 4 日（月）までに、2 者から技術提案書及び V E 提案書の提出がありました。

3 技術等審査の経過

技術等審査は、第 2 回選定委員会（令和 5 年 9 月 15 日（金）開催）において、次の手順で実施しました。

(1) はじめに、参加資格審査を通過した 2 者（M 社、D 社）に対し、個別にプレゼンテーション及びヒアリングを実施しました。プレゼンテーションは、技術提案書及び V E 提案書について 25 分以内で説明を求めた後、選定委員との間で 25 分程度のヒアリング（質疑応答の形式）を実施しました。なお、プレゼンテーション及びヒアリングについては、公開で行いました。

(2) 2 者のプレゼンテーション及びヒアリングが終了した後、それぞれの提案について、各委員により採点を行い、技術提案書に関する評価点を算出しました。

- (3) 実施要領に定めのある実績・技術提案・価格の評価点を合計したものを確認し、選定委員会の総意として、最優秀者にD社（戸田・神名特定建設工事共同企業体）を特定し、次点者をM社（清水・上林特定建設工事共同企業体）としました。

4 評価事項及び評価結果

(1) 評価事項

今回のプロポーザルの評価を行うに当たっては、下記の評価項目・配点で評価することとしました。なお、技術提案の評価については、提出された技術提案書等及びプレゼンテーション及びヒアリングにより、実施、実現できる効果的かつ具体的な取り組みの観点より総合的に各評価委員が項目ごとに評価を行いました。評価点の算出については、項目ごとに平均点を算出し評価点としました。

なお、評価項目に対する配点は次のとおりです。（実施要領より抜粋）

（別表1）実績・簡易技術提案評価及び配点表

評価項目		評価基準		配点	最大得点	
会社実績	工事実績	平成20年1月以降の工事完成実績	延床面積 15,000 m ² 以上かつ一般病床数 200 床以上の規模で、 <u>免震構造</u> の国内の病院の新築又は増築工事の施工実績(増築の場合にあっては、増築部分が 15,000 m ² 以上かつ一般病床数 200 床以上の規模で免震構造のものに限る。)	4	4	
			延床面積 12,000 m ² 以上かつ一般病床数 140 床以上の規模で、 <u>免震構造</u> の国内の病院の新築又は増築工事の施工実績(増築の場合にあっては、増築部分が 12,000 m ² 以上かつ一般病床数 140 床以上の規模で免震構造のものに限る。)	2		
技術協力業務責任者の能力	工事実績	平成20年1月以降に実施設計業務における管理技術者又は主任技術者、施工業務における監理技術者又は主任技術者として従事した工事等完成実績	延床面積 12,000 m ² 以上、かつ、一般病床数 140 床以上の規模で、 <u>免震構造</u> の国内の病院の新築又は増築工事の施工実績(増築の場合にあっては、増築部分が 12,000 m ² 以上、かつ、一般病床数 140 床以上の規模で免震構造のものに限る。)	実施設計業務における管理技術者として従事	6	6
				施工業務における監理技術者として従事又は実施設計業務における意匠主任技術者として従事	4	
			延床面積 10,000 m ² 以上、かつ、一般病床数 120 床以上の規模で、国内の病院の新築又は増築工事の施工実績(増築の場合にあっては、増築部分が 10,000 m ² 以上、かつ、一般病床数 120 床以上のものに限る。)	実施設計業務における管理技術者として従事	5	
				施工業務における監理技術者として従事又は実施設計業務における意匠主任技術者として従事	3	
	資格	配置予定技術者の所有資格	一級建築士かつ一級建築施工管理技士		2	2
			一級建築士又は一級建築施工管理技士		1	

評価項目		評価基準			配点	最大得点
監理技術者の能力（本工事）	工事実績	平成20年1月以降に監理技術者若しくは主任技術者として従事した工事完成実績	延床面積 12,000 m ² 以上、かつ、一般病床数 140 床以上の規模で、免震構造の国内の病院の新築又は増築工事の施工実績（増築の場合にあつては、増築部分が 12,000 m ² 以上、かつ、一般病床数 140 床以上の規模で免震構造のものに限る。）	施工業務における監理技術者として従事	6	6
				施工業務における主任技術者として従事	5	
			延床面積 10,000 m ² 以上、かつ、一般病床数 120 床以上の規模で、国内の病院の新築又は増築工事の施工実績（増築の場合にあつては、増築部分が 10,000 m ² 以上、かつ、一般病床数 120 床以上のものに限る。）	施工業務における監理技術者として従事	4	
				施工業務における主任技術者として従事	3	
	資格	配置予定技術者の所有資格	一級建築士かつ一級建築施工管理技士		2	2
			一級建築士又は一級建築施工管理技士		1	
簡易技術提案		(1)実施設計段階の実施方針に関する提案の技術提案書での提案に向けた考え方		優：8 良：4 可：0	8	
		(2)施工段階の実施方針に関する提案の技術提案書での提案に向けた考え方		優：8 良：4 可：0	8	
		(4) 宍粟市内事業者の活用に関する提案の技術提案書での提案に向けた考え方		優：8 良：4 可：0	8	
配点合計					44	

（注）共同企業体による受注実績の場合、以下のすべての項目について評価の対象となるのは代表構成員としての実績のみに限るものとする。

（別表2）技術提案等評価項目及び配点表

	評価項目	提案に求める内容	配点	最大得点
総合評価で求める項目	実績評価	（別表1）による		20
	(1) 実施設計段階の実施方針に関する提案	①ECI発注のメリットを活かせる手法について	優：4 良：2 可：0	20
		②技術協力業務者として病院特有の設計品質を確保及び品質向上を実現するための取組について	優：4 良：2 可：0	
		③実施設計段階のコスト増加を抑制するコストコントロール手法について	優：4 良：2 可：0	
		④基本設計内容に対して改善を図る提案について（3項目まで）	優：2 良：1 可：0 （項目ごとに採点：3×2点）	
		⑤脱炭素社会の実現及びその他環境配慮への貢献につながる設計手法について	優：2 良：1 可：0	

	評価項目	提案に求める内容	配点		最大 得点
総合評価で求める項目	(2)施工段階の実施方針に関する提案	①工事中のコスト増加を抑制するコストコントロール手法について	優：4　良：2　可：0		21
		②施工を円滑に進めるために行う発注者をはじめ関係者とのコミュニケーション手法について	優：4　良：2　可：0		
		③施工品質を確保するための体制及び手法について	優：4　良：2　可：0		
		④竣工後の建物品質を維持するための提案について	優：4　良：2　可：0		
		⑤別途工事等との調整方法について	優：4　良：2　可：0		
		⑥工事情報の市民への公開方法について	良：1　可：0		
	(3)工期短縮及び工程遵守に関する提案	4週8閉所を原則とし、法令を遵守し、かつ、品質、安全性を確保した上で工期短縮を実施、実現できる効果的で具体的な取り組みと、その短縮工期の工程表について	1か月以上の短縮	1	1
			工期短縮をしない、又はできない	0	
	(4) 穴栗市内事業者の活用に関する提案	①1次から3次下請工事の発注など、市内建設事業者を積極的に活用する手法について	優：2　良：1　可：0	2	6
		②市内企業等からの建材資材、日用品等を調達計画について	優：2　良：1　可：0	2	
		③①及び②の履行を確認するための有効なモニタリング手法について	優：2　良：1　可：0	2	
	(5)参加者の企業形態	市内建設業者とJVによる参加	JVによる参加	2	2
			単体企業による参加	0	
	(6)価格	評価は、VE提案採用後概算工事費で行う。総工事費参考額（総工事費上限額の目安）に対し、85％を限度に最大 30 点とする。	～30		30
総合評価点合計					100

(2) 各評価事項の評価

ア 実績評価

実績に関する評価については、実施要領と別に定めた表（別表1）をもとに評価を行いました。評価項目としては、1 会社実績、2 技術協力業務責任者の能力、3 監理技術者の能力（本工事）で評価を行いました。

実績評価については、会社及び従事予定の配置技術者ともに、当院が求める実績及び資格を有していました。

評価の結果は次のとおりです。

評価項目		D社
実績		19.00
	会社実績	4.00
	工事实績	4.00
	技術協力業務責任者の能力	7.00
	工事实績	6.00
	資格	1.00
	監理技術者の能力（本工事）	8.00
	工事实績	6.00
	資格	2.00

イ 技術提案評価

技術提案については、(1)実施設計段階の実施方針に関する提案、(2)施工段階の実施方針に関する提案、(3)工期短縮及び工程遵守に関する提案、(4)宍粟市内事業者の活用に関する提案、(5)参加者の企業形態の5つの項目で評価を行いました。

なお、技術提案の評価については、提出された技術提案書等及びプレゼンテーション及びヒアリングにより、実施、実現できる効果的かつ具体的な取り組みの観点より総合的に各評価委員が項目ごとに評価を行いました。

評価の結果は次のとおりです。

評価項目		D社
技術提案		33.64
	実施設計段階の実施方針に関する提案	12.84
	E C I 発注のメリットを活かせる手法	2.76
	技術協力業務者として病院特有の設計品質を確保及び品質向上を実現するための取組	2.60
	実施設計段階のコスト増加を抑制するコストコントロール手法	2.33
	基本設計内容に対して改善を図る提案①（3項目まで）	1.26
	基本設計内容に対して改善を図る提案②（3項目まで）	1.50
	基本設計内容に対して改善を図る提案③（3項目まで）	1.18
	脱炭素社会の実現及びその他環境配慮への貢献につながる設計手法	1.21
	施工段階の実施方針に関する提案	14.39
	工事中のコスト増加を抑制するコストコントロール手法	2.53
	施工を円滑に進めるために行う発注者をはじめ関係者とのコミュニケーション手法	2.75
	施工品質を確保するための体制及び手法	2.88
	竣工後の建物品質を維持するための提案	2.90
	別途工事等との調整方法	2.58
	工事情報の市民への公開方法	0.75

評価項目		D 社
	工期短縮及び工程遵守に関する提案	0.00
	4 週 8 閉所で工期短縮を実施、実現できる効果的で具体的な取り組みと、その短縮工期の工程	0.00
	宍粟市内事業者の活用に関する提案	4.41
	1 次から 3 次下請工事の発注など、市内建設事業者を積極的に活用する手法	1.58
	市内企業等からの建材資材、日用品等の調達計画	1.58
	上記の履行を確認するための有効なモニタリング手法	1.25
	参加者の企業形態	2.00
	市内建設業者と J V による参加	2.00

ウ 価格評価

価格評価については、V E 提案書の採用された項目を含めた V E 提案採用後概算工事費の提出を受けて、実施要項に示した計算式で算出しました。

なお、実施要領で示した計算式及び評価点は次のとおりです。

価格評価点の算出に当たっては、各提案者の V E 提案採用後概算工事費を総工事費参考額（総工事費上限額の目安）で割り、参考見積提案率（％）を算出しました。

$$\begin{aligned} \text{参考見積提案率（％）} &= (\text{V E 提案採用後概算工事費} / \text{総工事費参考額}) \times 100 \\ \text{【D 社の参考見積提案率：127％】} \\ &= (15,180,000,000 \text{ 円} \div 11,969,100,000 \text{ 円}) \times 100 \end{aligned}$$

次に、参考見積提案率を基に実施要項で定めた計算式で価格点を算出しました。

パターン 1：参考見積提案率が 85％以下の場合は 30 点とする。
 パターン 2：【85％＜参考見積提案率≤100％】における評価点は下記の計算式により求める。
 価格評価点算定式 $y = b \times (1 - x/a) + 10$
 x ：（参考見積提案率-85％） y ：価格評価点 $a=15\%$ $b=20$ 点
 パターン 3：【100％＜参考見積提案率】における評価点は下記の計算式により求める。
 価格評価点算定式 $y = b \times (1 - x/a)$
 x ：（115％-参考見積提案率） y ：価格評価点 $a=15\%$ $b=-20$ 点
 【D 社の価格点：-36.00 点】 $= -20 \text{ 点} \times (1 - (115\% - 127\%) / 15\%)$

評価項目	D 社
価格	— 3 6 . 0 0

エ 評価結果の合計（最終結果）

各評価項目の合計は下記のとおりとなり、D社を最優秀者として特定しました。

評価項目		D社
実績		19.00
技術提案		33.64
	実施設計段階の実施方針に関する提案	12.84
	施工段階の実施方針に関する提案	14.39
	工期短縮及び工程遵守に関する提案	0.00
	宍粟市内事業者の活用に関する提案	4.41
	参加者の企業形態	2.00
価格		-36.00
合計		16.64

※ 本件プロポーザルは、参加者が2者であったため、実施要領に基づき次点者の評価点は、非公表とします。

5 総評

本件プロポーザルには2者から参加表明があり、それぞれECI方式のメリットを最大限に活かした、病院建設における豊富な実績と高度な技術力に基づいたきめ細やかで積極的かつ説得力のある技術提案であり、両者の努力と情熱に心から感謝する。

まず、最優秀に特定されたD社（戸田・神名特定建設工事共同企業体）の技術提案では次の点が評価された。

- ・設計系技術協力業務責任者を中心としたコスト・機能検証早期実施や、モデルルーム追加提案などによるコミュニケーション重視のコストコントロール手法。
- ・結露対策シミュレーション等利便性向上につながる検討や盛土先行実施など豊富な経験と高度な技術力に基づいた工程遵守に対する施工提案。

次に、M社（清水・上林特定建設工事共同企業体）においては次の点が評価された。

- ・病院建設の特性である工事中の変更等対応や品質確保項目をリスト化するなど実施設計段階から施工段階を通したコスト増加抑制や品質確保に向けた体制整備。
- ・豊富な病院建設実績に基づいた別途工事との調整項目設定による施工調整方法や、設備工事も含めた工業化工法の採用検討など工期短縮に向けた提案。

以上の技術提案評価に加え、実績評価と価格評価を加算した評価合計点が上位であるD社を最優秀と特定した。

最後に、昨今の建設資材高騰など建設業界が見舞われている事態への対応も一定考慮された技術提案であり、両者ともに十分な業務遂行能力を有することが確認できた。今後とも市・病院関係者・設計関係者と良好な関係を築き、新たな課題にも柔軟かつ真摯に対応され、地域医療を守る病院建設にご協力いただくよう切に要望する。

6 選定委員会

区分	職	氏名
委員長	(公財) 兵庫県まちづくり技術センター 技術参事 (前兵庫県まちづくり部営繕課長)	朝倉 一晃
委員	公立宍粟総合病院 院長	佐竹 信祐
	宍粟市 副市長	富田 健次
	公立宍粟総合病院 副院長兼事務部長	菅原 誠
	宍粟市 市長公室長	水口 浩也
	宍粟市 教育委員会事務局 次長兼施設整備課長	西林 文隆

以上